

星薬科大学ビジョン 2025-2030



目次

I. ビジョン策定の目的	2
II. ビジョンの基本的考え方	2
III. ビジョン実現のための基本的方向	3
1. 研究推進体制の強化：世界に通用する研究型大学を目指す	
2. 教育の質の向上：国内有数の薬系教育機関を目指す	
3. 国際化及び多角的な産学官連携の推進	
4. 社会連携を通じて社会貢献を果たす	
5. 業務の改善・効率化とガバナンスの強化	
6. 安全・防災・リスクマネジメント・情報セキュリティ対策の推進	
IV. ビジョン実現のための中長期計画の策定	6

I. ビジョン策定の目的

大学を取り巻く環境は、18歳人口の減少、グローバル化の進展等により、大きく変化している。文部科学省は、2012年6月に「大学改革実行プラン」を公表し、激しく変化する社会における大学の機能の再構築に向けて、①大学教育の質的転換と大学入試改革、②グローバル化に対応した人材育成、③地域再生の核となる大学づくり、④研究力強化による世界的な研究成果とイノベーションの創出の4つの課題を上げ、そのための改革に取り組むことを大学に求めている。

こうした環境の中で、星薬科大学は法人と教学が一体となり、建学の精神と教育の理念に基づく教育研究活動を永続的に発展させるため、将来ビジョン検討委員会を設置し、2025年から2030年を見据えたビジョンを策定した。

II. ビジョンの基本的考え方

「本学は、世界に奉仕する人材育成の揺籃である」という建学の精神を、薬学を通して具現化するため、人類の薬物学、医療の知的遺産を継承・革新し、日本と世界に開かれた大学を基本理念とし、グローバル人材の育成、社会及び人類に貢献する薬学と創薬科学の総合薬学を基礎とする大学の創成を目指す。これを実現するため、次の5つの目標を掲げる。

1. 世界に通用する国内有数の研究型大学を目指す

本学の伝統に支えられた特色ある研究課題を活かし、同時に先端的領域へ重点を置いた研究を積極的に推進し、国内私立薬系大学をリードする研究型大学を目指す。

2. 日本国内有数の薬系教育機関を目指す

都心にある立地の好条件を活かした教育環境、教育体制を一層整備し、基礎と応用の両面を重視し、大学間連携等を強化することにより、高度医療に対応し、健康長寿社会の実現を支える人材の育成を行う教育機関を目指す。

3. 国際化及び多角的な産学官連携を推進する

国内外の薬学及び医学関連領域を有する大学、研究機関、企業との連携、共同研究等により、本学の特色ある産学官連携や大学間連携を推進する。

4. 社会連携を通じて社会貢献を果たす

地域社会、産業、行政及び関係諸機関との連携・協力を通して、本学の教育・研究、施設を活かした社会貢献を果たす。

5. 社会の変化に対応できる大学経営を目指す

建学の精神を永続的に実現していくため、業務の効率化、ガバナンスの強化、人材育成、安全防災対策、情報セキュリティ対策等を積極的に進めるとともに、経営基盤を充実・強化し、社会の変化に対応できる大学経営を目指す。

Ⅲ. ビジョン実現のための基本的方向

1. 研究推進体制の強化：世界に通用する研究型大学を目指す

(1) 「先端生命科学研究所」における研究の推進

革新的な研究を展開するため、これまでの本学の実績と特徴を活かした研究分野で、先端基礎研究分野における発見と臨床現場や社会への還元を意識した成果の創出を目指し、先端生命科学研究所を運営する。

(2) 競争的資金・外部資金の獲得

先端生命科学研究所における研究成果を基に、外部からの共同研究資金や競争的研究助成金の獲得により、事業運営の向上と安定化を図り、更なるイノベーションの創出を目指す。

(3) 研究人材の確保

外部からの優秀な人材の登用や大学院学生を増やし、研究人材の確保と育成に努める。また、リサーチアシスタント制度、奨学金等の充実や社会人博士課程への多様な人材の招致により、大学院の活性化を進める。

2. 教育の質の向上：国内有数の薬系教育機関を目指す

(1) 医療人としての薬剤師の養成

本学の教育理念である「親切第一」をモットーに、患者や医療チームと協力関係を構築でき、問題を構造化し解決する能力を基に、健康長寿社会を支える医療、健康・福祉に貢献できる医療人としての薬剤師を養成する。

(2) 創造的薬学教育の推進

生命科学を広く深く追求し、理解することを本質とする創造的薬学教育を推進し、基礎研究と実用化研究をともに進めることができ、イノベーションを創出できる薬剤師や生命科学分野の教育・研究者の育成を目指す。

このため、ファカルティディベロップメント（FD）の推進や双方向教育の充実を図り、薬剤師資格取得に不可欠な基礎学力を習得しつつ、創造的基礎研究能力と問題解決力を涵養する教育プログラムを、新カリキュラムに導入する。

(3) 学生支援活動の強化

学生の幅広い就業の機会の拡大を図るため、就職セミナー、インターンシップ等を推進するとともに、学生の勉学を支援する奨学金制度を拡充する。

(4) 入試制度の改善

医療人としての薬剤師にふさわしい学生やグローバルに活躍できる学生の確保を視野に入れた、多様な入試制度を検討する。

3. 国際化及び多角的な産学官連携の推進

(1) グローバル化対応

本学に優秀な研究者、学生を集め、高い教養と薬学の専門知識、行動力と異文化への理解を備えた多様な人材、いわゆる「グローバル薬学人」育成のための教育・研究環境を構築し、グローバルな視野に立った研究や産学官連携を推進する。

(2) 多角的産学官連携の推進

社会が直面する問題や課題に速やかに対応できる教育・研究活動を、迅速かつ効果的に行うための多角的ネットワーク型産学官連携システムを構築する。

4. 社会連携を通じて社会貢献を果たす

(1) 生涯学習や女性のキャリアパスへの対応

最新の専門的知識が求められる薬剤師の生涯学習や、女性薬剤師の職場復帰を支援するため、生涯研修認定制度の実施機関として、各種研修プログラムを薬剤師のキャリアパスの充実という視点から推進する。

同窓会及び地域の薬剤師会等と連携を取りながら、研修プログラムや医療に関する最新の情報を、卒業生や地域の薬剤師に提供する。

(2) 社会連携活動の推進

地域社会の発展に資するため、地元の自治体や医療関係諸機関との協力を通して、本学の教育・研究を活かした社会連携活動を推進する。

(3) 薬用植物園の公開と推進

薬用植物見学の機会を広く提供するほか、自治体と協力して薬用植物園を活用した公開講座を開催し、地域住民を中心に薬用植物に関する幅広い学習の機会を提供する。

5. 業務の改善・効率化とガバナンスの強化

(1) 業務の改善と効率化

社会や学生のニーズに適切に対応しながら、発展していく組織を目指し、①事務・管理の効率化・合理化、事務組織の改編、②情報・データの共有化・一元的管理、③教育職員及び事務職員の協働体制の強化、④スタッフポリシーの策定、スタッフディベロップメント（SD）による人材育成、⑤マルチジョブ化やジョブローテーションによる職員のキャリアアップ等を推進する。

(2) ガバナンスの強化

大学経営において重要な課題であるガバナンスの強化を図るため、①コンプライアンスの徹底と業務監査の充実、②自己評価や外部評価による自己点検機能の強化、③広報、インスティテューショナルリサーチ（IR）の充実、④人事評価制度の着実な実施を推進し、大学の社会的責任を果たす。

(3) 適正な資産管理

適正な資産管理を図るため、①資産の調達・管理・処分、②教育施設設備の整備、保守・管理、③実験施設設備・機器の整備、保守・管理、④電気・ガス・水道等の使用量の管理、④節電対策や省エネルギー対策、⑤知的財産の有効活用を確実に実施する。

6. 安全・防災・リスクマネジメント・情報セキュリティー対策の推進

(1) 安全対策

学生、職員の危険防止対策及び労働災害の原因追究や再発防止対策の充実を図ることにより、安全衛生管理を徹底する。

(2) 大規模震災対策

建物の耐震対策を進めるとともに、震災等の緊急時における実験施設設備・機器の安全管理対策を徹底する。また、大規模震災発生時の学生、職員の安否確認、父母等への連絡体制を充実する。

(3) リスクマネジメント・不正防止対策

経営・教育・研究等において、不正が生じるリスクを減少させるため、内部統制の見直しや内部監査を継続的に実施する。特に、助成金や科学研究費補助金の不正受給や流用が行われない体制を強化する。

法令等を適正に運用し遵守することを職員に徹底する。また、ハラスメントの防止に努める。

(4) 情報セキュリティー・防犯対策

コンピュータウイルスやハッキング等による情報漏洩や、記録メディアの紛失等、内部からの情報漏洩を防ぐ管理体制を強化する。個人情報漏洩のリスクへの対策として、FD や SD において個人情報に関する研修プログラムを実施し、セキュリティー意識の向上を図る。また、キャンパス内の防犯対策を強化する。

IV. ビジョン実現のための中長期計画の策定

ビジョン策定の目的でも述べたように、大学を巡る環境は、近年大きく変化している。このような変化に適切に対応していくためには、ビジョン実現のための中長期計画(ロードマップ)を策定するとともに、毎年中長期計画の進捗状況を点検・評価し、PDCA サイクルの導入により計画の見直しや改善を行っていくことが必要である。加えて、ビジョンについても、3年後に所要の見直しを行うこととする。

ビジョンを実現するに当たっては、健全な財政の維持を念頭に大学を巡る環境を踏まえ、優先順位を明確にしつつ着実に進めていくこととする。



星薬科大学ビジョン
2025-2030

学校法人星薬科大学

〒142-8501 東京都品川区荏原2丁目4番41号

TEL 03-3786-1011 (代表)

作成日：2014年5月27日